

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-NCb_2010beibpi(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)箕面市立箕面駅前駐車場・馬	階数	地上4F
建設地	大阪府箕面市箕面6丁目726番、727	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	30人
気候区分	地域区分Ⅲ	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2015年3月6日
敷地面積	3,493㎡	作成者	㈱大建設 安部新二
建築面積	2,899㎡	確認日	2015年3月6日
延床面積	8,881㎡	確認者	㈱大建設 安部新二



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	92%
③上記+②以外の	92%
④上記+	92%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	温熱環境	光・視環境	空気環境
N.A.	N.A.	N.A.	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	耐用性	対応性
N.A.	2.9	3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境	まちなみ	地域性・
2.0	3.0	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

建物の	自然エネ	設備システ	効率的
N.A.	3.0	4.9	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源	非再生材料の	汚染物質
3.4	2.5	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	地域環境	周辺環境
3.3	3.0	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	豊中亀岡線に面するファサードは、周辺の街並みに調和する形状や色彩計画としています。駐車場としての開放的なファサードだけでなく、閉鎖部や屋外階段によるアクセントを利用し、ファサードにリズムを与え、加えて全体的なヴォリュームを抑えることで、北側、西側、南側に面する周辺に対しての圧迫感を抑制しています。また、駐車場の出入口を全て東側からとすることで、交通上のリスクを極力小さくしています。	その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価しにくい環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境		Q2 サービス性能 複数の出入口を確保し、自転車駐輪場、自動二輪車庫は1階に集約することで、場内での移動をフラットに行えるようにしてバリアフリー性を高めています。
LR1 エネルギー	空調システムや照明器具については効率の良いものを選択しています。	Q3 室外環境(敷地内) 平面形状の工夫により南側に確保された緑地は周辺との緩衝帯としてだけでなく、高木を中心として植栽される木々により視覚的にもアメニティ空間としての役割を持たせています。
	LR2 資源・マテリアル 押出成形セメント板やデッキスラブ等により、南洋材である在来型枠の使用量を抑制します。加えて環境を破壊しない資源利用(化学物質・冷媒等)を行っています。	LR3 敷地外環境 周辺地域・環境に対しての影響(騒音振動・悪臭など)を抑える計画を行っています。府道箕面池田線に面して駐車場出入口を設け、近接信号交差点からなるべく遠く出入口を設けることで信号に滞留する車両等との干渉を避けるように計画しています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)箕面市立箕面駅前駐車場・駐輪場等複合施設		
	建設地	大阪府箕面市箕面6丁目726番、727番		
	用途/区分	工場		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			3
	省エネ対策			4
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.3	3
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価		4
			建物全体	
			住戸・宿泊	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.9	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
その他				
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項	
特に配慮した事項				